

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **こうほく**

日付 平成17年3月18日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

[自主評価結果を見る](#)

[評価項目の内容を見る](#)

[事業者のコメントを見る\(改善状況のコメントがあります!\)](#)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
一般住宅を改装して作ったホームである。施設のなところは見られず、まるで自分の家にいるような感じだ。
職員は、入居者と笑顔で接し、会話も十分に出来ている。ホーム内には、いつも笑い声が聞こえている。
入居前は一人暮らしでほとんどしゃべらなかつた利用者が、今では明るくよくしゃべるようになった。家族も驚いている。真っ白だった頭髪に黒い毛が生えてきているのは環境のためであろうか。
居間のテーブルには、いつもお茶の入った急須が置かれている。入居者が自由にお茶を飲めるようにするためであり、みんなが集まりやすくするためでもある。部屋に帰って休む入居者もいるが、ほとんどの入居者は居間に出ている。生活パターンの改善に役立っている。

散歩には天気がよければ毎日のように出掛ける。近所には半田山植物園があり季節ごとに色々な花が見られる。法界院のお寺にも、お参りに出掛ける。気持ちが落ち着くそうだ。近隣の住民との関係も大変よく、交流がしっかり出来ている。

ご家族との関係も問題なく、要望や意見も引き出せている。庭木の剪定に来てくれたり、昼休みにお茶を飲みに立ち寄りたりもしてくれている。

改善の余地があると思われる点
入居者個別の記録はしっかりと取られています。測定の結果記録をより生かされるようご検討ください。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か わが屋の延長のように、のびのびした生活を送れるように。また、笑顔が集まる「楽しいわが家」と呼んでもらえるような環境作りをめざしている。近隣の住民との関係を大切に、普通の家庭のような近所付き合いをしている。 閉じこもらない生活を送ってもらうため天気の良い日には散歩や買い物、外出に出掛けている。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 日中は鍵をかけない生活をしている。いつでも出掛ける事が出来る。このことは職員の見守りがしっかり出来ているからである。 職員は、「帰る」とは言わない。帰宅するときも「行ってきます」と言う。入居者の気持ちを考えたものである。 入居者の中には色々な性格や生活歴の人がいる。見守り、声かけをしっかりと行って、摩擦が起こらないように配慮している。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 食事の後など、入居者が居室で昼寝やテレビを見ているときは出来るだけひとりの時間を大切に、見守りは必要最小限にとどめている。食事の準備はみんなに出来る範囲で手伝ってもらっている。野菜を切ったり、味見をしたり、盛り付けもしている。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か、 職員は毎月1回、事業主である岡北整形外科医院で勉強会をする。また、近隣の施設にも勉強に行きレベルアップに努めている。 歩きにくい入居者のために部屋の中に手すりをつけ、ベッドサイドの手すりの位置を変えている。ひとり一人の環境が少しでも良いものになるよう話し合われている。			